

## 岡崎市民病院 院内がん登録集計（2019年）

### （1）登録・集計の対象

以下の①～③をすべて満たす症例について登録・集計しています。

- ①2019年1月1日～2019年12月31日の1年間に当院で診断された症例、または、他施設ですでに診断されて当院に初診した症例
- ②全ての部位の悪性新生物（上皮内がんを含む）と、頭蓋内・脊髄・脊髄膜・馬尾の良性および良悪不詳の新生物、卵巣の一部の境界悪性腫瘍
- ③原発部位

### （2）登録の定義

院内がん登録は、登録ルールである「がん診療連携拠点病院 院内がん登録標準登録様式登録項目とその定義 2016年版」に基づき登録しています。

### （3）院内がん登録 全登録数の推移

全登録数の推移

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
院内がん登録 全登録数 (括弧内は対前年差)	1150	1161 (+11)	1204 (+43)	1305 (+101)	1348 (+43)	1388 (+40)	1840 (+452)	2761 (+921)

### （4）院内がん登録 集計登録数 集計目次

1. 部位別登録数 年次推移
2. 2019年 登録数上位10部位（全体・男女別）
3. 2019年 初回治療内容
4. 2019年 部位別 治療前ステージ・初回治療内容（5大がん詳細）

### （5）集計結果について

部位別登録数については、1件以上10件未満の場合は、1～3件、4～6件、7～9件として表記し、10件以上は実数で表記した

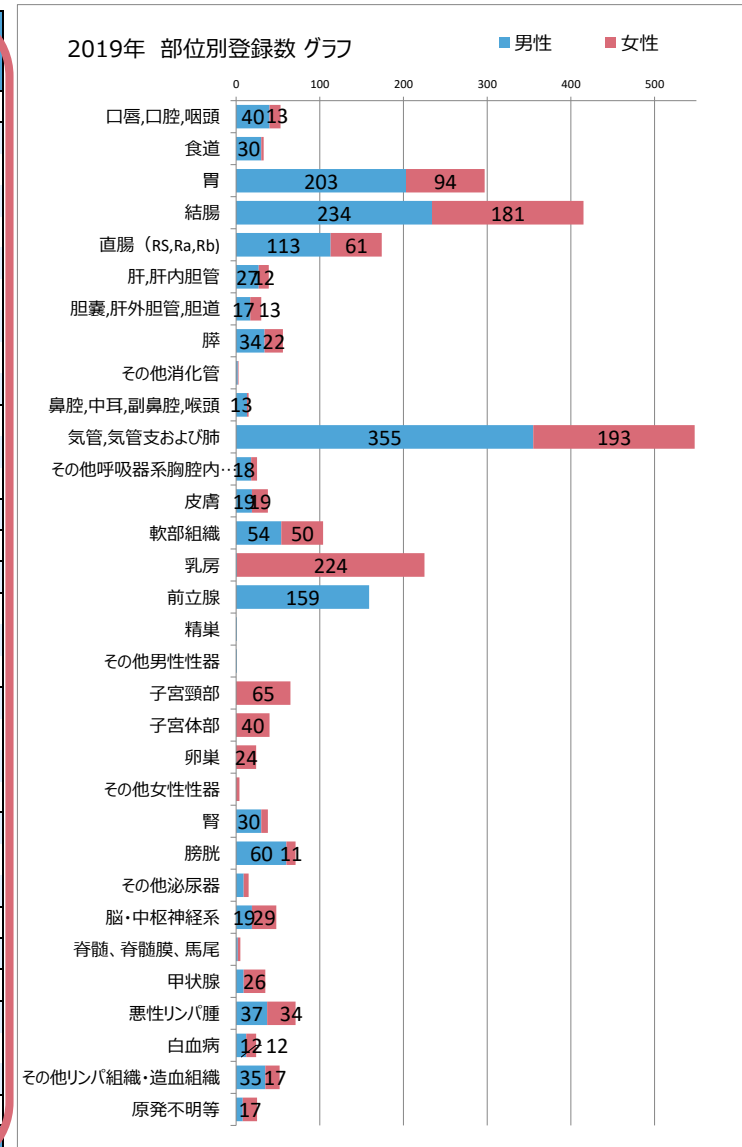
# 1. 部位別登録数 推移

●表は、部位別の登録数の推移です。

○2019年の登録数は2733件であり、2018年と比較し900件増加しました。

○部位別の登録数は多い順に【大腸】 【気管、気管支および肺】 【胃】 【乳房】 【前立腺】 となりました。

部位区分	2017 集計	2018 集計	2019 集計	2019 性別		
				男性	女性	
口唇、口腔および咽頭	49	46	<b>53</b>	40	13	
消化器	食道	25	34	<b>33</b>	30	(1-3)
	胃	124	195	<b>297</b>	203	94
	大腸	208	282	<b>589</b>	347	242
	(再掲) 結腸	146	193	<b>415</b>	234	181
	(再掲) 直腸 (RS,Ra,Rb)	62	89	<b>174</b>	113	61
	肝、肝内胆管	34	65	<b>39</b>	27	12
	胆嚢、肝外胆管、胆道	31	31	<b>30</b>	17	13
	膵	46	85	<b>56</b>	34	22
	その他の消化管	(7-9)	17	<b>(1-3)</b>	(1-3)	(1-3)
	呼吸器 および 胸腔内臓器	喉頭、鼻腔及び中耳、副鼻腔	19	15	<b>15</b>	13
気管、気管支および肺		105	185	<b>548</b>	355	193
その他の呼吸器系および胸腔内臓器*1		(4-6)	(4-6)	<b>25</b>	18	(7-9)
皮膚	21	32	<b>38</b>	19	19	
骨・軟部組織	(1-3)	(4-6)	<b>104</b>	54	50	
乳房	48	82	<b>225</b>	(1-3)	224	
生殖器	前立腺	183	175	<b>159</b>	159	該当なし
	精巣	(4-6)	(7-9)	<b>(1-3)</b>	(1-3)	該当なし
	その他の男性性器	(1-3)	(1-3)	<b>(1-3)</b>	(1-3)	該当なし
	子宮頸部	92	61	<b>65</b>	該当なし	65
	子宮体部	27	40	<b>40</b>	該当なし	40
	卵巣	17	30	<b>24</b>	該当なし	24
泌尿器	その他の女性性器	(4-6)	(4-6)	<b>(4-6)</b>	該当なし	(4-6)
	腎	30	31	<b>38</b>	30	(7-9)
	膀胱	78	72	<b>71</b>	60	11
その他の泌尿器	15	17	<b>15</b>	(7-9)	(4-6)	
脳・中枢神経系*2	45	53	<b>48</b>	19	29	
脊髄、脊髄膜、馬尾 (2016より追加) *3	(1-3)	(1-3)	<b>(4-6)</b>	(1-3)	(1-3)	
甲状腺	22	30	<b>35</b>	(7-9)	26	
造血器	悪性リンパ腫	50	104	<b>71</b>	37	34
	白血病	27	35	<b>24</b>	12	12
	その他のリンパ組織・造血組織	43	67	<b>52</b>	35	17
原発不明,その他	16	20	<b>25</b>	(7-9)	17	
<b>総計</b>	<b>1382</b>	<b>1833</b>	<b>2733</b>	<b>1542</b>	<b>1191</b>	



\*1 胸腺等  
 \*2 脳・中枢神経系は、良性や良悪不詳の腫瘍を含む。  
 \*3 脊髄・脊髄膜・馬尾は良性や良悪不詳の腫瘍を含む。

## 2. 2019年 登録数上位10部位（全体・男女別）

●登録数が多い順に上位10部位の件数と全体に占める割合を、全体・男女別で示しました。

### <全体>

	部位	件数	(%)
1	大腸	589	21.6%
2	気管、気管支および肺	548	20.1%
3	胃	297	10.9%
4	乳房	225	8.2%
5	前立腺	159	5.8%
6	骨・軟部組織	104	3.8%
7	膀胱	71	2.6%
8	悪性リンパ腫	71	2.6%
9	子宮頸部(CINⅢを含む)	65	2.4%
10	膵	56	2.0%

### <男性>

	部位	件数	(%)
1	気管、気管支および肺	355	23.0%
2	大腸	347	22.5%
3	胃	203	13.2%
4	前立腺	159	10.3%
5	膀胱	60	3.9%
6	骨・軟部組織	54	3.5%
7	悪性リンパ腫	37	2.4%
8	膵	34	2.2%
8	腎	30	1.9%
10	食道	30	1.9%

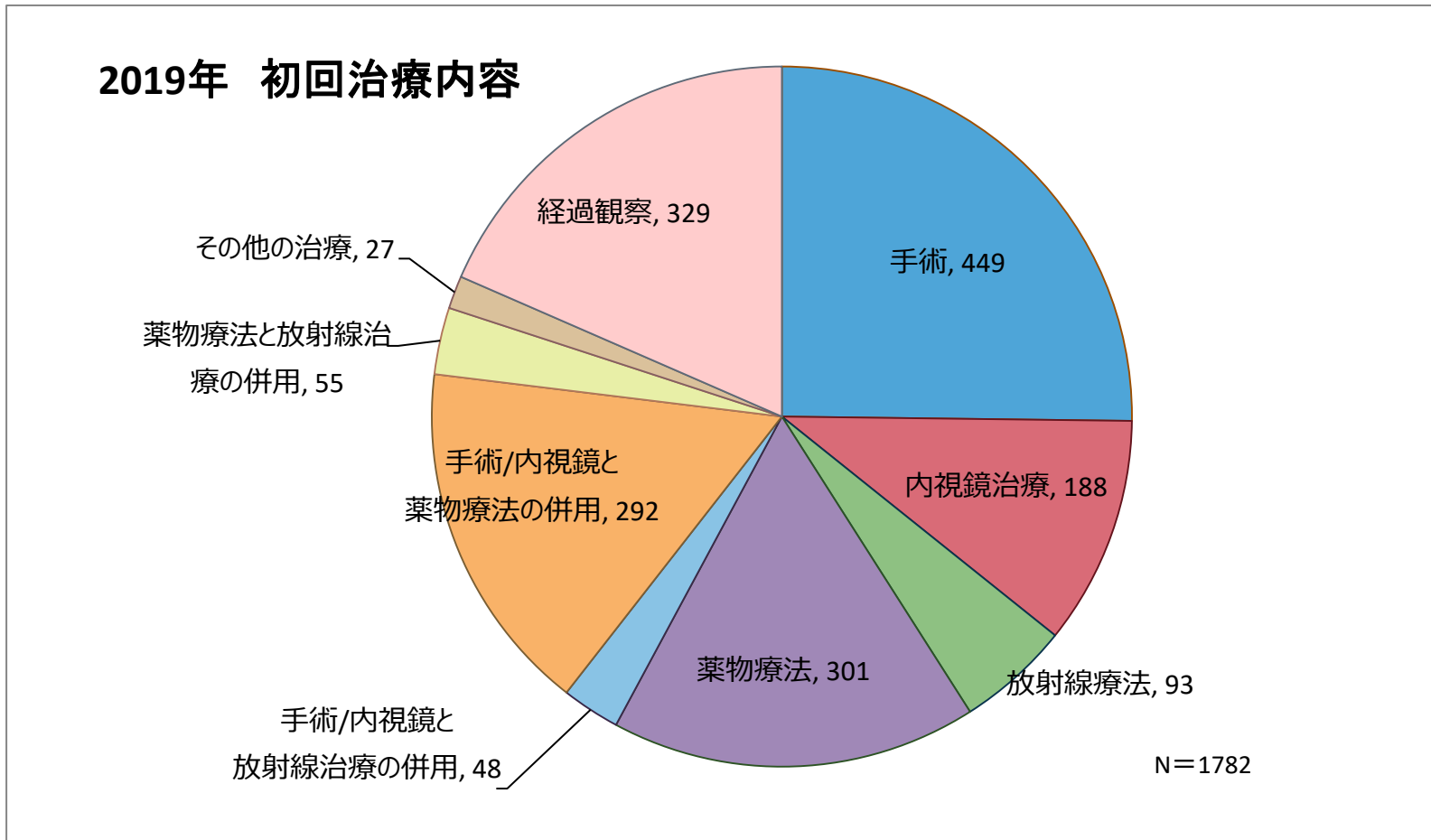
### <女性>

	部位	件数	(%)
1	大腸	242	20.3%
2	乳房	224	18.8%
3	気管、気管支および肺	193	16.2%
4	胃	94	7.9%
5	子宮頸部(CINⅢを含む)	65	5.5%
6	骨・軟部組織	50	4.2%
6	子宮体部	40	3.4%
8	悪性リンパ腫	34	2.9%
9	脳・中枢神経系（良性の腫瘍を含む）	29	2.4%
10	甲状腺	26	2.2%

### 3. 2019年 初回治療内容

- 「初回治療」が行われた症例を、主な治療（手術・化学療法・放射線療法等）の治療行為別に分類しました。院内がん登録では、経過観察の症例や症状緩和を目的とした治療も「初回治療」としてカウントしています。

(単位：件)



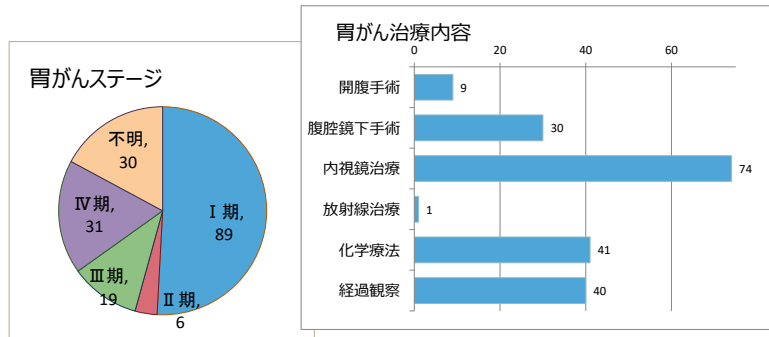
・院内がん登録における「初回治療」は、治療開始時点で計画された一連の治療のことで、症状・治療の進行に従って後に追加された治療などは含まれません。

#### 4. 2019年 部位別 ステージ・初回治療内容（5大がん詳細）

●わが国で罹患数の多い5大がん（胃・大腸・乳房・肝・肺）について、部位ごとに治療前ステージ別登録数と、各がんにおける主な治療の内容のグラフです。

（単位：件）

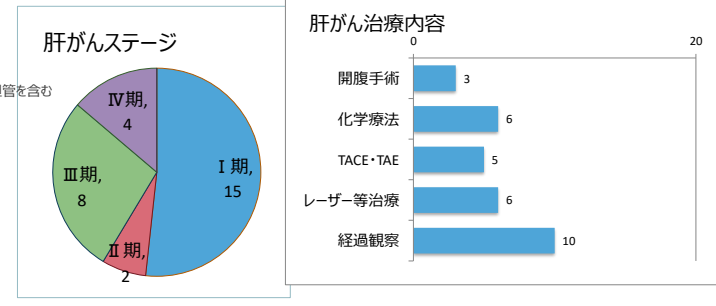
### 胃



胃癌ステージ	I期	II期	III期	IV期	不明	計
	89	6	19	31	30	175

治療内容	開腹手術	腹腔鏡下手術	内視鏡治療	放射線治療	化学療法	経過観察
	9	30	74	1	41	40

### 肝

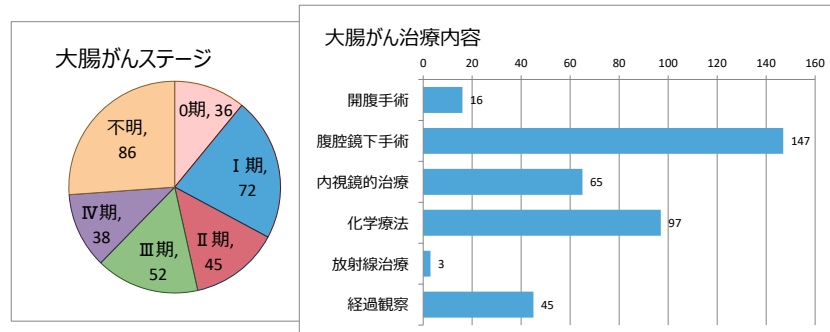


肝がんステージ	I期	II期	III期	IV期	不明	計
	15	2	8	4	0	29

治療内容	開腹手術	化学療法	TACE・TAE	レーザー等治療	経過観察
	3	6	5	6	10

減った？

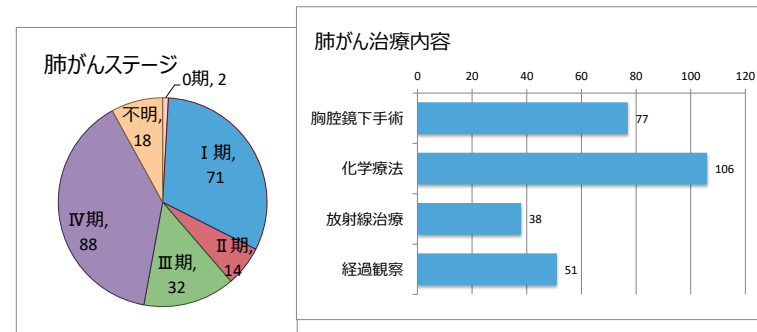
### 大腸



大腸がんステージ	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	計
	36	72	45	52	38	86	329

治療内容	開腹手術	腹腔鏡下手術	内視鏡的治療	化学療法	放射線治療	経過観察
	16	147	65	97	3	45

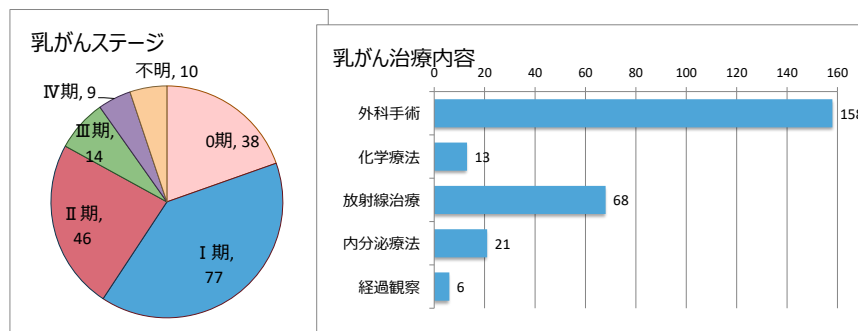
### 肺



肺がんステージ	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	計
	2	71	14	32	88	18	225

治療内容	胸腔鏡下手術	化学療法	放射線治療	経過観察
	77	106	38	51

### 乳房



乳がんステージ	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	計
	38	77	46	14	9	10	194

治療内容	外科手術	化学療法	放射線治療	内分泌療法	経過観察
	158	13	68	21	6

<各集計の内容について>

#### 【部位別 ステージ】

がんの診断に引き続いて治療や経過観察が計画された症例について、治療前に診断されたステージ（病期）を集計したものです。ステージ分類は、UICC TNM分類（第8版）に準拠したルールを用いて分類しています。

#### 【部位別 治療内容】

がんの診断に引き続いて計画された一連の治療の件数（主な治療）をまとめました。併用して治療した場合は、各々にカウントしています。がんに対する直接的な治療がなく、フォローのみされた場合は、「経過観察」としています。また、症状・治療の進行に従って後に追加された治療などは含まれません。